

2020年10月12日

首都ハノイ市

ベトナム社会主義共和国の首都ハノイ市は国の北部に位置し、ダ川と紅河に接する紅河デルタ地方の中心都市です（人口約809万人）。同市は多くの歴代王朝の首都でしたが、現在も首都機能に加え同国の経済、政治、文化、科学の中心地です。同市は1999年7月16日にユネスコによって「平和のための都市」の称号を授与されました。同市は、これまでにアジア太平洋経済協力（2006年）、列国議会同盟第132回総会（2015年）、第6回大メコン圏首脳会議（2018年）、ASEAN世界経済フォーラム（2018年）、など数多くの国際会議の開催地として選ばれています。また昨2019年、アメリカのトランプ大統領と朝鮮



当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

民主主義人民共和国の金正恩朝鮮労働党委員長との第2回首脳会談が開催されたことは記憶に新しいところです。

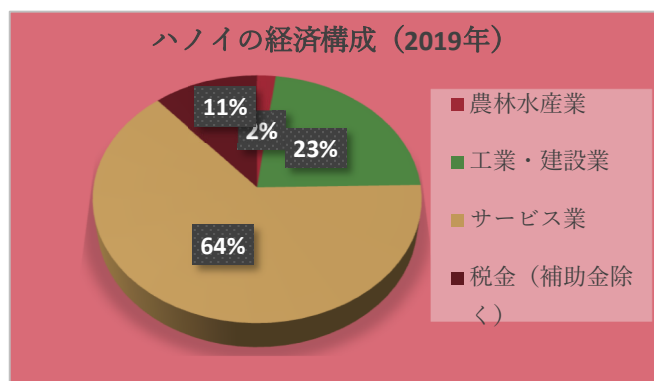
❖ 経済、インフラ整備

ハノイは、経済・人口規模でホーチミン市に次ぐベトナム第2の都市です。2019年の域内総生産（GRDP）は、約971.7兆ドン

（約420.4億ドル）と推定され、全国GDPの16%に相当します。（その成長率は約7.6%で、過去4年間で最も高い上昇率）。2019年の一人当たりGRDPは

約1億2,010万ドン（約5,197ドル）で、前年比

7%増加し全国一人当たりGRDPの2倍の水準でした。同市の経済構造は、情報・通信、金融・保険などのサービス業が全体の64.0%で同市の経済成長を牽引し、工業・建設業（同22.69%）、農業（同1.99%）が続きました。



出所：ハノイ統計局

現在、同市には工業団地が11か所あり、その総面積は2,000haにのぼり、産業クラスターは70か所で総面積1,337haとなっています（工業団地の半分以上は入居率が100%）。2019年12月31日現在、同市で活動する企業数は前年比9%増の155,940社で、全国の総企業数の20.6%を占めています。FPT、ベトナムバンク、ビンホームズ、軍隊銀行、ビンググループ、などの有力企業も同市に本社を置いています。

経済発展を促進するために、同市ではインフラの改善が絶えず行われています。市内では多くの道路が拡張され、交通渋滞を減らすために高架道路の建設が進んでいます。また、同市と近隣の省を結ぶ高速道路や高架鉄道が順次開通しています。空港インフラ整備に関しても国際線乗り換えの利便性を向上するために、同市はノイバイ国際空港の能力拡大を計画しています。

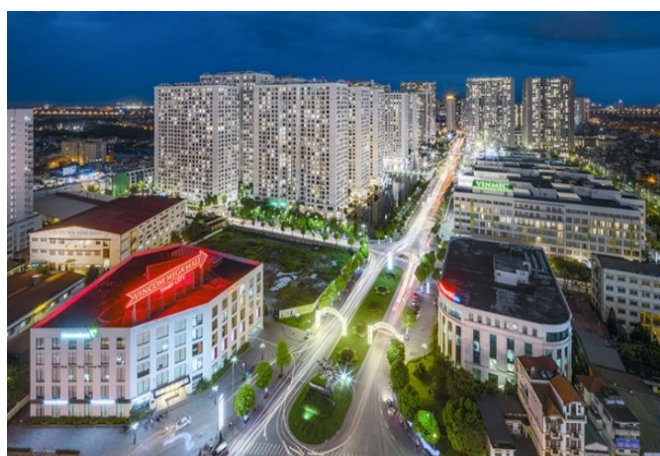
当資料は、情報提供を目的として、キャピタルアセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAMが運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

ベトナム通信 ～当社グループ現地スタッフによる最新情報～

同空港の旅客処理能力を 2030 年までに 6,300 万人、そして 2050 年までに 1 億人に引き上げる計画です（貨物量はそれぞれ 200 万トン、500 万トンに拡大の見込み）。さらに、市内ドンアン地区ではスマートシティプロジェクトが進行していますが、ここではエネルギー、交通、行政、教育、ビジネス、生活の 6 分野で最新のスマート技術が導入されています。最近では同市の富裕層の増加に伴い、ショッピングモール、別荘、タウンハウス、高級マンションなどの不動産施設への投資が増加傾向にあり、同市の景観は 20 年ほど前と比べて様変わりです。



ニャットアン橋



タイムシティ都市圏

2020 年から 2025 年にかけて、同市は革新的で創造的なスマートシティの構築に向けて、持続可能な開発を迅速に推進する計画です。2021-2025 年期については、過去 5 年よりも高い成長となる平均 7.5~8%の経済成長率を目標としています。その結果、2025 年までに、ハノイは工業化・近代化された都市として確立されるとし、1 人あたりの平均所得は 2 億~2.5 億ドンになることが期待されています。

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

海外直接投資（FDI）については、2019年の新規認可案件数は879件で、認可額は13億8,206万ドルでした（2020年8月まで累計した認可総額は390億1,210万ドルで同国全体の約10%にあたる金額）。2020年は、ベトナムでも新型コロナウイルスが大きな影響を及ぼしましたが、それでも同市は8月の時点で認可総額11億9,376万ドルの誘致に成功しています。

❖ 観光

ハノイ統計局によると、2019年にハノイを訪れた外国人観光客数は前年比7%増の約462万人に達し、国内観光客数は同4.6%増の約1,230万人を数えました。2019年の観光収入は前年比11.7%増の74.5兆ドンと推定されています。

同市には、タンロン遺跡、文廟国子監、ホアンキエム湖、一柱寺、ハノイ大聖堂など、何世代にもわたって保存された多くの文化的・芸術的建築作品が存在します。ハノイを訪れた際、訪問者はにぎやかな旧市街あるいは静かな古い路地での散策を楽しめます。ハノイの市街地からそれほど遠くないところに、伝統的な工芸品や絶妙なハンドメイド製品で有名な「村」が点在しています。中でも、バッチャンの陶芸村、ヴァンプックのシルク村、グサーの青銅鑄造の村、ハタイの漆塗り村、ニャットンの花村などは観光客には是非訪れていただきたい「村」です。



タンロン遺跡: 2003年から発掘されている遺跡群。2010年8月にユネスコの世界文化遺産に登録されました。千年前から続く多くの歴代王朝にちなんだ遺跡があり、現在も発掘中。

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

ベトナム通信 ～当社グループ現地スタッフによる最新情報～



旧市街：「ハノイ 36 通り」と親しみを込めて呼ばれ、通りごとに各分野の職人が集まっており、通りにはかつてそこで販売されていた商品の名が付いています。ホアンキエム湖の北にある地区で、かつてはタンロンの一大商業区として賑わっていた古き良きベトナムを感じさせるところ。



ホアンキエム湖：ハノイ市街の中心に位置し、同市内での主要な景観スポット。その名は精霊から授かった魔剣タンキエムによって中国の明朝から国を守ったレロイ（後黎朝の皇帝）がその剣を返したという神話に由来します（ホアンキエム＝「返した剣の湖」）。湖の中央には玉山祠があり、市民の憩いの場となっています。



バッチャンの陶芸村：陶器の生産では国内最古の歴史を持つ陶芸村。ハノイ市中心部から 20 キロのザーラム郡にあります。日本の陶磁器にもひけを取らない 700 年の歴史をもつ「バッチャン焼き」が今注目を集めています。

名物料理

ベトナム北部文化の中心地であるハノイでは、同国の他の地域の料理も楽しむことができますが、やはりハノイ独自の料理が魅力的です。ハノイを訪れる訪問者は、ヴォン村のコム（Com lang Vong）、フォー(Pho)、ブンチャ(Bun cha)、ブントアン(Bun Thang)、バインクオン・タイ

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

ベトナム通信 ～当社グループ現地スタッフによる最新情報～

ンチ(Banh cuon Thanh Tri)、チャカラボン(Cha ca La Vong)、バイントム・ホータイ (Banh tom Ho Tay)など、ハノイの典型的な名物料理を満喫できます。



ブンチャ



バイントム・ホータイ



バインクオン・タインチ



ハノイフォー



チャカラボン



ヴェオン村のコム

【写真提供：JVRC】

http : www.capital-am.co.jp

以上

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。